

[3] 慢性膵炎 -1 (13 : 55 ~ 14 : 45)

I. 早期慢性膵炎・診断基準 (32 分)

11. 慢性膵炎早期像の解明—成因別による経過から見た早期の臨床像の検討— [共同研究]

栗原市立栗原中央病院	小泉 勝
産業医科大学消化器・代謝内科	大槻 眞
<u>ワーキンググループ</u>	
自治医科大学消化器・一般外科	佐田尚宏
京都府立医科大学大学院消化器病態制御学	片岡慶正
関西労災病院内科	伊藤敏文
東北大学大学院消化器病態学	下瀬川徹
信州大学健康安全センター	川 茂幸
名古屋大学大学院消化器内科学	成瀬 達
藤田保健衛生大学第二教育病院内科	乾 和郎
東京都立駒込病院内科	神澤輝実
九州大学大学院病態制御内科学	伊藤鉄英
福島県立医科大学内科学第二講座	入澤篤志
名古屋市立大学大学院臨床機能内科学	大原弘隆
札幌厚生病院	須賀俊博
弘前大学医学部病因・病態検査学	中村光男

12. 早期慢性膵炎診断方法の開発— EUS の有用性の検討— [共同研究]

栗原市立栗原中央病院	小泉 勝
産業医科大学消化器・代謝内科	大槻 眞
<u>ワーキンググループ</u>	
福島県立医科大学内科学第二講座	入澤篤志
京都府立医科大学大学院消化器病態制御学	片岡慶正
藤田保健衛生大学第二教育病院内科	乾 和郎
名古屋市立大学大学院臨床機能内科学	大原弘隆
東京都立駒込病院内科	神澤輝実
札幌厚生病院	須賀俊博
京都第二赤十字病院消化器科	安田健治朗
東北大学大学院消化器病態学	下瀬川徹
愛知県がんセンター消化器内科	山雄健次
千葉大学大学院腫瘍内科学	山口武人

13. MRI による膵外分泌機能の評価

杏林大学医学部外科学	杉山政則, 原留弘樹, 松本伸明, 鈴木 裕, 阿部展次, 跡見 裕
------------	---------------------------------------

14. アルコール性慢性膵炎の早期像と alcoholic pancreatopathy — 1994 年全国登録症例の解析と今後の進め方

自治医科大学消化器・一般外科	佐田尚宏, 小泉 大, 永井秀雄
----------------	------------------

II. 慢性膵炎病態 (18分)

15. 「アルコール性膵炎におけるアルコール依存症の検討」および
「遺伝子多型とアルコール性膵炎の関連の研究」 [共同研究]

国立病院機構久里浜アルコール症センター	丸山勝也
関西医科大学内科学第三	岡崎和一
京都府立医科大学大学院消化器病態制御学	片岡慶正
東北大学大学院消化器病態学	下瀬川徹
国立病院機構仙台医療センター外科	武田和憲
産業医科大学消化器・代謝内科	大槻 眞
他 検体提供者	

16. メタボリックシンドロームにおける膵障害の検討

名古屋学芸大学管理栄養学部管理栄養学科	北川元二
---------------------	------

[4] 慢性膵炎-2 (14:45 ~ 15:25)

III. 合併症・転帰調査 (30分)

17. 慢性膵炎転帰調査における膵性糖尿病に関する検討 (第2報) [共同研究]

九州大学大学院病態制御内科学	伊藤鉄英
産業医科大学消化器・代謝内科	大槻 眞

18. 膵性糖尿病の全国調査 [共同研究]

九州大学大学院病態制御内科学	伊藤鉄英
産業医科大学消化器・代謝内科	大槻 眞
難治性膵疾患調査研究班	

19. 慢性膵炎疑診例の長期間追跡調査の前向き研究 [共同研究]

産業医科大学消化器・代謝内科	大槻 眞, 田代充生
難治性膵疾患調査研究班	

IV. 基礎的研究 (10分)

20. 膵星細胞における圧負荷誘導性細胞外基質産生における活性酸素依存性シグナルの検討

産業医科大学消化器・代謝内科	大槻 眞, 浅海 洋, 宮本珠生, 田口雅史, 田代充生, 木原康之, 中村早人
----------------	--

15:25 ~ 15:40 コーヒーブレイク

[5] 自己免疫性膵炎 (15:40 ~ 17:05)

I. 診断基準と治療指針 (45分)

21. 自己免疫性膵炎の活動評価方法, 治療適応と再発に関する研究 [共同研究]

関西医科大学内科学第三	岡崎和一
<u>ワーキンググループ</u>	
高知大学医学部消化器病態学	西森 功
東北大学大学院消化器病態学	下瀬川徹
東京都立駒込病院内科	神澤輝実
信州大学健康安全センター	川 茂幸
名古屋市立大学大学院臨床機能内科学	大原弘隆
昭和大学医学部第二内科学	田中滋城
名古屋大学大学院消化器内科学	成瀬 達
九州大学大学院病態制御内科学	伊藤鉄英
藤田保健衛生大学第二教育病院内科	乾 和郎
栗原市立栗原中央病院	小泉 勝
倉敷中央病院病理検査科	能登原憲司
順天堂大学大学院人体病理病態学	須田耕一
産業医科大学消化器・代謝内科	大槻 眞
難治性膵疾患調査研究班	

22. 自己免疫性膵炎のアトラス作成 [共同研究]

関西医科大学内科学第三	岡崎和一, 内田一茂
<u>ワーキンググループ</u>	
高知大学医学部消化器病態学	西森 功
東京都立駒込病院内科	神澤輝実
信州大学健康安全センター	川 茂幸
名古屋市立大学大学院臨床機能内科学	大原弘隆
昭和大学医学部第二内科学	田中滋城
名古屋大学大学院消化器内科学	成瀬 達
九州大学大学院病態制御内科学	伊藤鉄英
藤田保健衛生大学第二教育病院内科	乾 和郎
栗原市立栗原中央病院	小泉 勝
順天堂大学大学院人体病理病態学	須田耕一
産業医科大学消化器・代謝内科	大槻 眞

23. 自己免疫性膵炎における膵外病変—全国調査より— [共同研究]

高知大学医学部消化器病態学	西森 功
信州大学健康安全センター	川 茂幸
関西医科大学内科学第三	岡崎和一
東京都立駒込病院内科	神澤輝実
名古屋市立大学大学院臨床機能内科学	大原弘隆
金沢医科大学腫瘍治療学部門	元雄良治
倉敷中央病院病理検査科	能登原憲司
産業医科大学消化器・代謝内科	大槻 眞
難治性膵疾患調査研究班	

24. 自己免疫性膵炎に合併する硬化性胆管炎と原発性硬化性胆管炎との鑑別 [共同研究]
—「難治性の肝・胆道疾患に関する調査研究班」との共同研究：硬化性胆管病変に
ついての検討より—

高知大学医学部消化器病態学	西森 功
信州大学健康安全センター	川 茂幸
九州大学大学院病態制御内科学	伊藤鉄英
名古屋市立大学大学院臨床機能内科学	大原弘隆
東京都立駒込病院内科	神澤輝実
倉敷中央病院病理検査科	能登原憲司
産業医科大学消化器・代謝内科	大槻 眞

25. 再燃自己免疫性膵炎の診断と治療

昭和大学医学部第二内科学	田中滋城, 吉田 仁, 池上覚俊, 今村綱男, 北村勝哉, 本間 直, 山崎貴久, 湯川昭浩, 井廻道夫
--------------	--

II. 病理・病態 (32分)

26. 自己免疫性膵炎関連遺伝子のゲノムワイド検索

信州大学健康安全センター	川 茂幸
信州大学医学部内科学第二	北原 桂, 尾崎弥生, 村木 崇, 浜野英明, 新倉則和

27. 十二指腸主乳頭部生検の IgG4 免疫染色による自己免疫性膵炎の診断の有用性に関する検討
東京都立駒込病院内科

神澤輝実, 陳 鵬羽, 屠 聿揚,
江川直人

28. IgG4 関連硬化性唾液腺炎と lymphoplasmacytic sclerosing pancreatitis の病理組織学的
相違点

倉敷中央病院病理検査科	能登原憲司
-------------	-------

29. Granulocytic epitheliallesion (GEL) を伴う自己免疫性膵炎症例の検討

順天堂大学大学院人体病理病態学	須田耕一, 高瀬 優, 福村由紀, 柏木聡子, 内藤嘉紀, 園上浩司, 細川義則, 阿部 寛, 柿沼千早
-----------------	--

III. 基礎的研究 (8分)

30. WBN/Kob ラットの膵炎・耳下腺炎における自己免疫性機序の関与及び調節性 T 細胞
の免疫応答

1) 関西医科大学第一病理学	岡崎和一 2), 坂口雄沢 1), 2)
2) 関西医科大学内科学第三	稲葉宗夫 1), 3), 4), 津田雅庸 1)
3) 関西医科大学再生医学難病治療センター	福井淳一 1), 上田祐輔 1)
4) 関西医科大学癌治療センター	大前麻理子 1), 安藤祐吾 1), 李 銘 1), 郭 可泉 1), 池原 進 1), 3), 4)

[6] 膵嚢胞線維症 (17:15 ~ 17:40)

I. 病因・病態 (15分)

31. わが国の嚢胞性線維症症例における *CFTR* 遺伝子変異に関する解析

国家共済虎の門病院呼吸器センター内科
東京慈恵会医科大学 DNA 医学研究所

吉村邦彦, 安齋千恵子
衛藤義勝

32. siRNA を用いた *CFTR* 機能異常の解析

名古屋大学大学院消化器内科学
名古屋大学健康栄養医学

成瀬 達, 洪 繁, 吉川俊之
石黒 洋, 山本明子, 中莖みゆき,
近藤孝晴

II. 実態調査 (10分)

33. 第3回膵嚢胞線維症全国疫学調査 (個人調査票の解析) [共同研究]

名古屋大学大学院消化器内科学
名古屋大学健康栄養医学
国立長寿医療センター
国家共済虎の門病院呼吸器センター内科
熊本大学医学薬学研究部消化器外科学
産業医科大学消化器・代謝内科

成瀬 達
石黒 洋
玉腰暁子
吉村邦彦
広田昌彦
大槻 眞

17:40 ~ 17:50 総合討論

17:50 閉会の辞

主任研究者 大槻 眞

厚生労働科学研究費補助金難治性疾患克服研究事業

難治性瘧疾患に関する調査研究班

主任研究者：大槻 眞

平成 18 年度 第 2 回研究報告会 プログラム

日 時：平成 19 年 1 月 16 日（火） 11：00～18：10

会 場：大手町サンケイプラザ 3階 301・302室
東京都千代田区大手町 1-7-2
(TEL/03-3273-2258, FAX/03-3270-3039)

11:00 開会の辞 主任研究者 大槻 眞
11:05 ご挨拶 厚生労働省健康局疾病対策課様

[1] 重症急性膵炎 -1 (11:05 ~ 12:45)

I. 実態・転帰調査 (15分)

1. 平成17年度特定疾患医療費受給者証交付申請状況 [共同研究]
主任研究者 大槻 眞, 木原康之 (産業医科大学消化器・代謝内科)
2. 重症急性膵炎医療費受給証更新用臨床個人調査票の問題点 [共同研究]
主任研究者 大槻 眞, 木原康之 (産業医科大学消化器・代謝内科)

II. 診断・重症化・重症度判定 (35分)

3. 急性膵炎診断基準・重症度判定基準の改訂と検証 [共同研究]
分担研究者 武田和憲 (国立病院機構仙台医療センター外科)
4. 急性膵炎における perfusion CT の有用性
国立病院機構仙台医療センター外科 武田和憲
国立病院機構仙台医療センター消化器科 木村憲治
5. 胆石膵炎の重症度判定—重症度新判定基準 (改訂案) と比較して—
熊本地域医療センター・ヘルスケアセンター 明石隆吉
6. ERCP 後膵炎のアンケート集計について [共同研究]
分担研究者 峯 徹哉 (東海大学医学部消化器内科学)

III. 病態・治療 (50分)

7. 急性膵炎重症化の分子病態の解明と予防, 治療法の確立 [共同研究]
分担研究者 下瀬川徹, 正宗 淳, 佐藤晃彦 (東北大学大学院消化器病態学)
8. 急性膵炎進展における凝固線溶系の関与
— α 2 plasmin inhibitor knockout mouse を用いた解析—
近畿大学医学部外科 竹山宜典, 里井俊平, 新崎 亘
近畿大学医学部第二生理学 松尾 理
9. 急性膵炎発症早期の腸管血行動態と麻痺性イレウスの関係
京都府立医科大学大学院消化器病態制御学 片岡慶正, 阪上順一, 谷口浩也,
信田みすみ, 馬場武彦, 土佐正俊,
泰井敦子, 伊藤令子, 元好朋子,
保田宏明, 岡上 武
10. 動注治療の適応と開始時期・期間の前向き研究と指針の作成 [共同研究]
分担研究者 片岡慶正 (京都府立医科大学大学院消化器病態制御学)
11. 消化管内除菌, 経腸・経口栄養の方法と開始時期の前向き研究と指針の作成 [共同研究]
分担研究者 竹山宜典 (近畿大学医学部外科)

12. 重症急性膵炎に対する plasma dia-filtration (PDF) の有用性

滋賀医科大学消化器内科

藤山佳秀, 畑 和憲

滋賀医科大学救急集中治療部

五月女隆男, 江口 豊

12:45 ~ 13:25 昼食 (分担研究者打ち合わせ会 2階 201室)

[2] 重症急性膵炎-2 (13:25 ~ 13:40)

IV. 基礎的研究 (15分)

13. 遺伝子改変マウスを用いた膵炎の発症, 重症化機構の解析

熊本大学大学院消化器外科学

広田昌彦, 大村谷昌樹, 陶山浩一,
橋本大輔, 尾崎宣之, 馬場秀夫

14. 重症急性膵炎における high mobility group box (HMGB) -1 の動態と意義

神戸大学大学院消化器外科学

黒田嘉和, 安田武生, 上田 隆,
新関 亮, 沢 秀博, 中島高広

[3] 慢性膵炎-1 (13:40 ~ 14:30)

I. 早期慢性膵炎・診断基準 (25分)

15. 慢性膵炎早期像の解明—早期診断基準案の妥当性の検討— [共同研究]

研究協力者 小泉 勝 (栗原市立栗原中央病院)

主任研究者 大槻 眞 (産業医科大学消化器・代謝内科)

16. 早期慢性膵炎診断方法の開発—EUSの有用性の検討— [共同研究]

研究協力者 小泉 勝 (栗原市立栗原中央病院)

主任研究者 大槻 眞 (産業医科大学消化器・代謝内科)

17. 原因を特定できない上腹部痛患者における膵EUS所見

福島県立医科大学内科学第二講座

入澤篤志, 佐藤 愛

II. 慢性膵炎病態 (25分)

18. 大酒家で腹部不定愁訴を有する症例が慢性膵炎へ進展するか [共同研究]

研究協力者 佐田尚宏, 小泉 大 (自治医科大学消化器・一般外科)

主任研究者 大槻 眞 (産業医科大学消化器・代謝内科)

19. 「アルコール性膵炎におけるアルコール依存症の検討」および

「遺伝子多型とアルコール性膵炎の関連の研究」 [共同研究]

分担研究者 丸山勝也 (国立病院機構久里浜アルコール症センター)

20. メタボリック症候群における膵障害の検討

名古屋学芸大学管理栄養学部管理栄養学科

北川元二

14:30 ~ 14:35 総合討論

[4] 慢性膵炎-2 (14:35 ~ 15:25)

Ⅲ. 合併症・転帰調査 (40分)

21. 慢性膵炎転帰調査における膵性糖尿病に関する検討 (第3報) [共同研究]
研究協力者 伊藤鉄英, 五十嵐久人 (九州大学大学院病態制御内科学)
主任研究者 大槻 眞 (産業医科大学消化器・代謝内科)
22. 膵性糖尿病の全国調査 [共同研究]
研究協力者 伊藤鉄英 (九州大学大学院病態制御内科学)
主任研究者 大槻 眞, 田代充生 (産業医科大学消化器・代謝内科)
23. 慢性膵炎に合併した糖尿病およびその合併症の頻度 [共同研究]
主任研究者 大槻 眞, 田代充生 (産業医科大学消化器・代謝内科)
24. 慢性膵炎薬物治療のアンケート調査 [共同研究]
主任研究者 大槻 眞, 田代充生 (産業医科大学消化器・代謝内科)
25. 慢性膵炎の長期予後 [共同研究]
主任研究者 大槻 眞 (産業医科大学消化器・代謝内科)
藤野善久 (産業医科大学公衆衛生学)

Ⅳ. 基礎的研究 (10分)

26. 膵星細胞における圧負荷誘導性細胞外基質産生における活性酸素依存性シグナルの検討
産業医科大学消化器・代謝内科
大槻 眞, 浅海 洋, 宮本珠生,
田口雅史, 田代充生, 木原康之,
中村早人

15:25 ~ 15:40 コーヒーブレイク

[5] 自己免疫性膵炎 (15:40 ~ 17:35)

Ⅰ. 診断基準と治療指針 (40分)

27. 自己免疫性膵炎の活動評価方法, 治療適応と再発に関する研究 [共同研究]
分担研究者 岡崎和一, 内田一茂 (関西医科大学内科学第三)
28. 自己免疫性膵炎のアトラス作成 [共同研究]
分担研究者 岡崎和一, 内田一茂 (関西医科大学内科学第三)
29. 自己免疫性膵炎の膵外病変に関するワーキング報告 [共同研究]
分担研究者 川 茂幸 (信州大学健康安全センター)
30. 自己免疫性膵炎に合併する硬化性胆管炎と原発性硬化性胆管炎との鑑別 [共同研究]
—「難治性の肝・胆道疾患に関する調査研究班」との共同研究: 硬化性胆管病変に
ついての検討より—
分担研究者 西森 功 (高知大学医学部消化器病態学)

31. 自己免疫性膵炎に合併する肝病変の病理学的検討

信州大学健康安全センター

信州大学医学部消化器内科

金沢大学大学院形態機能病理学

川 茂幸

梅村武司, 新倉則和, 浜野英明,

清澤研道

全 陽, 中沼安二

II. 病理・病態 (50分)

32. EUS-FNAによる自己免疫性膵炎の診断と病態解明

愛知県がんセンター中央病院

名古屋大学大学院消化器内科学

山雄健次, 水野伸匡, 澤木 明,

石川英樹, 伯耆徳之

成瀬 達, 洪 繁

33. 顆粒球浸潤を伴う自己免疫性膵炎の病理組織学的検討

順天堂大学大学院人体病理病態学

須田耕一, 高瀬 優, 福村由紀,

柏木聡子, 内藤嘉紀, 阿部 寛,

柿沼千早

34. 十二指腸主乳頭部生検のIgG4免疫染色による自己免疫性膵炎の診断の有用性に関する検討

東京都立駒込病院内科

神澤輝実, 江川直人, 屠 聿揚

35. IgG4関連リンパ節病変の病理学的検討

倉敷中央病院病理検査科

能登原憲司, 藤澤真義, 和仁洋治,

津嘉山朝達

36. 自己免疫性膵炎再燃に関する検討

藤田保健衛生大学第二教育病院内科

乾 和郎, 芳野純治, 奥嶋一武,

三好広尚, 中村雄太, 服部昌志

37. 再燃自己免疫性膵炎の診断と治療

昭和大学医学部第二内科学

田中滋城, 吉田 仁, 池上覚俊,

今村綱男, 埴 勝博, 北村勝哉,

本間 直, 山崎貴久, 湯川明浩,

井廻道夫

III. 実態調査 (8分)

38. 自己免疫性膵炎に関する合同調査票 (活動性の評価方法, 診断のスコア化の試み, 膵外病変についての調査, ステロイド治療可否と再発に関する研究) [共同研究]

分担研究者 西森 功 (高知大学医学部消化器病態学)

IV. 基礎的研究 (17分)

39. WBN/Kob ラットの膵炎・耳下腺炎における自己免疫性機序の関与および調節性T細胞の免疫応答

関西医科大学内科学第三
関西医科大学第一病理学

岡崎和一, 坂口雄沢
福井淳一, 上田祐輔, 津田雅庸,
大前麻理子, 安藤祐吾, 李 銘,
郭 可泉
稲葉宗夫
池原 進

40. 自己免疫性膵炎における HLA DRB1*0405 結合
—炭酸脱水素酵素IVペプチドに対する細胞性免疫応答—

高知大学医学部消化器病態学
高知大学医学部分子免疫学

西森 功, 森本香理, 耕崎拓大
宇高恵子

17:35 ~ 17:45 総合討論

[6] 膵嚢胞線維症 (17:45 ~ 18:00)

I. 病因・病態 (7分)

41. siRNAによるCFTR機能異常の解析
名古屋大学大学院消化器内科学
名古屋大学健康栄養医学

成瀬 達, 洪 繁
石黒 洋, 山本明子, 近藤孝晴

II. 実態調査 (8分)

42. 第3回膵嚢胞線維症全国疫学調査(個人調査票の解析)[共同研究]
分担研究者 成瀬 達(名古屋大学大学院消化器内科学)
石黒 洋(名古屋大学大学院健康栄養医学)
玉腰暁子(国立長寿医療センター)

18:00 ~ 18:05 総合討論

18:05 閉会の辞

主任研究者 大槻 眞

Korea-Japan Symposium on Autoimmune Pancreatitis — KOKURA 2007 —

— It is time to make international consensus of diagnostic criteria for autoimmune pancreatitis! —

March 23 (Friday) 2007 13:30-18:00

Venue: Rihga Royal Hotel Kokura, Room Emerald (4th floor)

2-14-2 Asano, Kita-ku, Kokura, Kitakyushu 802-0001, Japan

Tel: 81-93-531-1121

President: Professor Makoto Otsuki, MD
University of Occupational and Environmental Health, Kitakyushu, Japan
Chairman of Research Committee of Intractable Pancreatic Diseases, provided by the
Ministry of Health, Labour, and Welfare, Japan
mac-otsk@med.uoeh-u.ac.jp

Organizing Committee:

Terumi Kamisawa, MD

Tokyo Metropolitan Komagome Hospital, Tokyo, Japan

Myung-Hwan Kim, MD

Asan Medical Center, Seoul, Korea

Kazuichi Okazaki, MD

Kansai Medical University, Osaka, Japan

Makoto Otsuki, MD

University of Occupational and Environmental Health, Kitakyushu, Japan

Masao Tanaka, MD

Kyushu University, Graduate School of Medical Sciences, Fukuoka, Japan

Secretary: Terumi Kamisawa, MD
Department of Internal Medicine, Tokyo Metropolitan Komagome Hospital
3-18-22 Honkomagome, Bunkyo-ku, Tokyo 113-8677, Japan
Tel: 81-3-3823-2101, Fax: 81-3-3824-1552
E-mail: kamisawa@cick.jp

Each speaker: a 10 to 15-min talk and a 10 to 20-min discussion

Slide should be made in English.

English is preferable in Presentation and Discussion.

Further discussion about steroid trial for diagnosis of autoimmune pancreatitis will be held at the end of Session 3.

13:30

Opening Remark

Professor Makoto Otsuki

University of Occupational and Environmental Health, Kitakyushu, Japan

Session 1: Radiological Diagnostic Criteria for Autoimmune Pancreatitis

Moderator 1

Dr. Shigeyuki Kawa

Shinshu University, Matsumoto, Japan

Moderator 2

Dr. Jae Bock Chung

Yonsei University College of Medicine (Vice President of Korean Society of Pancreatobiliary Disease), Seoul, Korea

Speaker 1

“Differentiation between autoimmune pancreatitis and other tumors on US, CT and MRI”

Dr. Hiroyuki Irie

Kyushu University, Fukuoka, Japan

Speaker 2

“Differentiation between autoimmune pancreatitis and other tumors on ERCP”

Dr. Takayoshi Nishino

Tokyo Women’s Medical University, Tokyo, Japan

Speaker 3

“Autoimmune pancreatitis with inflammatory bowel diseases”

Dr. Toshiharu Ueki

Fukuoka University Chikusi Hospital, Fukuoka, Japan

Session 2: Serological, Histological and Therapeutic Problems in Autoimmune Pancreatitis

Moderator 1

Dr. Kazuichi Okazaki

Kansai Medical University, Osaka, Japan

Moderator 2

Dr. Myung-Hwan Kim

Asan Medical Center, Seoul, Korea

Speaker 4

“Pancreatic cancer showing high serum IgG4 concentration”

Dr. Terumi Kamisawa

Tokyo Metropolitan Komagome Hospital, Tokyo, Japan

Speaker 5

“Is IgG4-positive plasma cell specific for autoimmune pancreatitis?”

Drs. Masaru Takase and Koichi Suda

Juntendo University, Tokyo, Japan

Speaker 6

“Steroid therapy and long-term prognosis of autoimmune pancreatitis”

Dr. Shigeyuki Kawa

Shinshu University, Matsumoto, Japan

Coffee Break

16:00-

Session 3: First Step Toward International Consensus of Diagnostic Criteria for Autoimmune Pancreatitis

“ Should or should not steroid trial be included in diagnostic criteria for autoimmune pancreatitis?”

Moderator 1

Dr. Terumi Kamisawa

Tokyo Metropolitan Komagome Hospital, Tokyo, Japan

Moderator 2

Dr. Tetsuhide Ito

Kyushu University, Fukuoka, Japan

Moderator 3

Dr. Ji Kon Ryu

Seoul National University College of Medicine, Seoul, Korea

Speaker 7

“Clinical diagnostic criteria in USA and Italy”

Dr. Isao Nishimori

Kochi Medical School, Kochi, Japan

Speaker 8

“Clinical diagnostic criteria in Japan compared with that in Korea”

Dr. Kazuichi Okazaki

Kansai Medical University, Osaka, Japan

Speaker 9

“Clinical diagnostic criteria in Korea compared with that in Japan”

Dr. Myung-Hwan Kim

Asan Medical Center, Seoul, Korea

18:00

Closing Remark

Professor Makoto Otsuki

University of Occupational and Environmental Health, Kitakyushu, Japan

各種ワーキンググループ会議

1. 「急性膵炎診断基準・重症度判定基準の改訂」についての公聴会

日時：平成18年4月20日(木) 15:30～17:30

会場：北九州国際会議場

担当：武田和憲(国立病院機構仙台医療センター外科)

2. 自己免疫性膵炎診断基準改訂案に対する公開討論会

日時：平成18年4月22日(土) 13:30～15:00

会場：北九州国際会議場

担当：岡崎和一(関西医科大学内科学第三)

3. 硬化性胆管病変についての共同ワーキンググループ^{*}会議(第1回)

日時：平成18年6月30日(金) 15:00～16:45

会場：パシフィコ横浜

担当：西森 功(高知大学医学部消化器病態学)

4. 硬化性胆管病変についての共同ワーキンググループ^{*}会議(第2回)

日時：平成18年10月13日(金) 13:00～15:00

会場：小野薬品工業株式会社札幌支店

担当：西森 功(高知大学医学部消化器病態学)

^{*}厚生労働科学研究費補助金難治性疾患克服研究事業 難治性膵疾患に関する調査研究班と難治性の肝・胆道疾患に関する調査研究班(主任研究者 大西三朗)による共同ワーキンググループ

厚生労働科学研究費補助金
難治性疾患克服研究事業

難治性膝疾患に関する調査研究

平成 18 年度 総括・分担研究報告書

平成 19 年 3 月 31 日 印刷・発行

発行者 厚生労働科学研究費補助金難治性疾患克服研究事業
難治性膝疾患に関する調査研究班

主任研究者 大 槻 眞

北九州市八幡西区医生ヶ丘1-1
産業医科大学消化器・代謝内科

TEL: 093-603-1611 (内線 2434)

製作・印刷 株式会社アークメディア
東京都千代田区三番町7-1
TEL: 03-5210-0821